



ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2020年06月
第 299 号



定例総会について

例年6月末に実施している定例総会ですが、新型コロナウイルス拡散防止のための行動が効果となりつつあるように思います。現時点で、6月27日（土）春日公園の自然あそび館の前、野外のベンチで開催予定です。

10時から12時まで、公園で自然観察

13時から14時半まで 定例総会

6/8 ナイス福岡 事務局 田村耕作

視点を考えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

今を静かに楽しみましょう（2）

事務局長 小野 仁

新型コロナウイルスの蔓延が、予断を許さない状況が続いています。どこで以前のような生活に戻るのか、全く違った道に踏み出すのか、判断に悩みます。しかし、現在は不要不急の外出を避け、我が家の周辺の観察会を継続しています。

今回は虫眼鏡を持参して行いました。目に入ったのがフラサバソウ。近年、どんどん増えています。植物は子孫繁栄のために種子を色々な方法で拡散する仕組みを持っています。フラサバソウはアリを巧みに利用した「アリ散布植物」です。種に付着しているエライオソームでアリを誘惑し、巣穴の近くまで運んでもらいそこで発芽します。このエライオソームは、オレイン酸などの脂肪酸、グルタミン酸などのアミノ酸、ショ糖などの糖を含んだ物質です。この物質を持っているのは200種類ほどあるようですが、我が家の周りではスミレ、タチツボスミレ（以上スミレ科）、ムラサキケマン、キケマン（ケシ科）、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ（シソ科）、カタバミ（カタバミ科）、オオイヌノフグリ、フラサバソウ（ゴマノハグサ科）でした。

では、なぜフラサバソウが増えているかという、エライオソームの大きさです。この植物の種（ふぐり）は大きくて立派です。したがって、エライオソームも大きく、この種が落ちるとアリがすぐに運搬します。傍にムラサキケマンの種を蒔いてみたのですが、フラサバソウの勝ちでした。（写真はフラサバソウ）



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 092-844-4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（109回）は

☆日時 6月20日（土）です。

コロナウイルスの拡散、県内で落ち着いたようです。防止のための用心しつつ再び開催します。

公園の駐車場もすべて従来通り利用できます。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160〔田村の携帯〕

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

7月19日（日）8月16日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

中止です

7月26日（日）8月23日（日）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7月5日（日）8月2日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

7月11日（土）8月8日（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

中止です

7月12日（日）8月9日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

中止です

7月7日（火）8月4日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

6月は中止です。

問合せ：090-7159-3933（松富士）
詳しくはHPを御覧ください。

福岡植物友の会

問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約 参加は有料

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikumikyuryo.blog107.fc2.com/>

7月4日（土）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30（早めに終わるか
もしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
[検索](#)
観察会や様々な生きものの情報を載せています



スミゾメハキリバチ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会 主催

6/27（土）
定例会議
時 間：12:30～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/27（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



ラクダムシ 三国・松永

2020年5月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、5月1日（旧暦4月9日）～5月31日（旧暦 閏4月9日）までのデジカメ日誌です。



5月4日（旧暦4月12日）太宰府市大佐野
クレソンを吸蜜中のアオスジアゲハ。モルフォ蝶の様に青い光がとても美しい。構造色なので角度が変わるときに色が変わる。別名クロタイマイとも。



5月11日（旧暦4月19日）筑紫野市天拝坂
沈丁花に実が成とう！初めて見た！と妻が興奮している。私は考えたこともなかったが、珍しいことらしい。旨そうな実だが、心臓に来る毒があるそうだ。



5月21日（旧暦4月29日）筑紫野市天拝坂
シマサシガメ成虫がヒゲナガクロハバチ幼虫の体液を吸っている。場所はハバチの幼虫が食草にしていたナルコユリの葉の上。弱肉強食。命のつながり。食物連鎖の一コマ。このサシガメ、外来種だが桜守。



5月7日（旧暦4月15日）筑紫野市天拝坂
樹勢はかなり衰えてきていたが、今年もたくさん花を咲かせてくれた。一日花だけど、今年も父の祥月にお供えできた。大山蓮華。モクレンの仲間なのでよい香りに包まれる。



5月19日（旧暦4月27日）筑紫野市阿志岐宝満川
麦秋の阿志岐を観ていたら、チドリの仲間がやって来た。はじめ、イカルチドリかと思ったが、アイリングの黄色がはっきり見えたので、これはコチドリだった。



5月28日（旧暦閏4月6日）筑紫野市天拝坂
サラサウツギの蕾である。八重の花が開くと白いが、花弁の裏は紅い。良く観ると花弁にも萼にも、茎や葉にまで星状毛が付いている。触ると少しざらつく。

くすのき 2020年6月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園の自然の様子

令和2年5月16日（土）小雨【参加者数】0人

【担当者】、田村耕作

コロナウイルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止しました。

5/16の自然の様子を、自主的に記録しました。

（報告と写真/田村耕作）



絵：木村陽子

観察コース

自然あそび館～菖蒲池～カスケード～噴水広場～展示広場～自然風庭園～社池～牛頸川～自然あそび館
晴れて気持ちの良い天気の中、記録のための散策となりました。

観察内容

- ① モッコクの紅葉、ヒイラギナンテンの実、ヤツデの新葉と旧葉、サンゴジュの蕾、ヤマモモの実、モミジの種
ヒメユズリハの蕾、スイカズラの花と香り、ヤマザクラの実、タイサンボクの蕾
- ② 野鳥
ツバメ、ヒヨドリ、キジバト、ムクドリ、スズメ、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、メジロ、
セグロセキレイ、ハクセキレイ、アオサギ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、アヒル、カワラバト
ハチクマ（10羽が東へ飛んだ）
- ③ その他の生きもの
シオカラトンボ、モンシロチョウ、

感想

- ・冬鳥が去り、上空をハチクマが渡っていったことが印象的でした。
- ・先月にもまして、利用者が多かった。



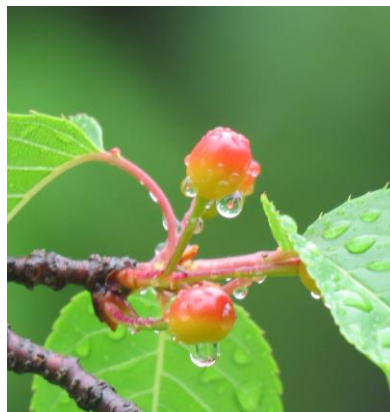
紅葉したモッコク



モミジの種



スズメ幼鳥 雨宿り？



サクラランボ

今時の観察会でしょうね。会員の志賀さんからの投稿です。

オンライン観察会に取り組んでいます。4月下旬から、だいたい週に2回のペースでやってきました。

休校期間中のお子さんや自然好きの方に、少しでも身近な自然をお届けできたらという思いで始めましたが、勉強になることばかりです。スマホで撮影しながら配信していますが、新芽の様子や道端の花、街路樹の地衣類などちっちゃな自然をじっくり見るのが楽しいです。6月いっぱいには実施しますのでぜひご参加ください！

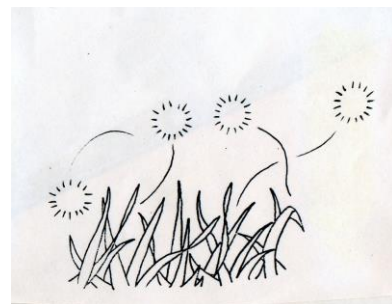
主催：NPO 法人グリーンシティ福岡 名称：ZOOM de かんさつ会

説明：ご自宅からオンラインで参加できる身近な自然の観察会です。

日時とテーマ： 6 月 17 日(水)13:00-14:00「カタツムリ探しさんぽ2」

6 月 20 日(土)10:30-11:15「ダンゴムシとあそぼう」

詳細：<http://www.greencity-f.org> から「ZOOM de かんさつ会」の画像をクリック。



☆しぜんごと☆ <2020. 6>

ほんの小さな庭でも、草木があるとそれなりに様々な生きものが通り過ぎていく。4月のことだが、玄関脇に植えたモッコウバラの枝先がなんか変な気がして触ると“あれっ?!”。よくよく見ると、触覚があったりして、どうやらチョウらしい。触ったのに逃げもしない。写真を撮って図鑑で調べてみるとツマキチョウのようだ。ここで羽化して翅を伸ばしていたところか？ ここは毎日見ていたのに幼虫とかさなぎとかには全く気付かなかった。部屋に戻って程なく、もう一度見に行った時には、もう居なくなっていた。不思議な、一瞬の出会いであった。



<モッコウバラとツマキチョウ>

チョウの話をもう一つ。去年の秋に仕入れた小さなキンカンの木。やっとこの頃、葉っぱも増えて来たところだ。5月、そんな小さな木に、なんと鳥のウンチのふりをしたアゲハの幼虫がいた。すでに2cmくらいになっていた。えー！ッと思いながら、木を見るとそれ程被害を受けた様子がないので、このまま見守ることにした。2～3日後、終齢になり、そして2～3日見ているうちに、姿を消した。どこか安全な場所に移動してさなぎになり、羽化してしてくれたらと思った。それにしても、こんな庭の片隅の小さなミカン科の木をよく見つけるものだと、感心したのでした。<さんじゃく>



＜キンカンとアゲハの幼虫＞

1日1回散策

6月に入って間もない頃、東区にある池（通称カモ池）の周囲を散策していました。オオヨシキリ、セッカ、ホオジロの囀り、上空には時々、コアジサシが飛んできて、池に突っ込んでいました。散策しているのは数人のみで、人との距離は充分過ぎる空間でした。

そんな時にけたたましい水音、オオバンが水面を蹴りつつ、羽ばたいている姿を目撃しました。オオバンはあちこちで見かけ、大濠公園（福岡市中央区）の池ではすぐ目の前で、潜ったり、追いかけてたりする姿を観察していましたが、飛び立つ姿を見たのは、この時が初めてでした。一般にオオバンは冬鳥なので、大きく移動する様子を観察する機会はあるはずなのに、なかなか難しいようです。田字草



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2020年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、令和2年7月10日（金）午後2時より事務局で行います。令和2年7月号の原稿は、7/7（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2020年5月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作がそれぞれの自宅で作業した。

4月の行事、5月の行事と中止を継続しましたが、6月、初夏のまぶしい日の中で、ゆっくりとそろりそろり自然観察会を会員の皆様と共に実施したいと思います。

今はまだ、感染の用心に心がけながら、少しでも今までの日常に戻りたい時期ですね。 田字草



サンゴジュの蕾と雨の雫
撮影：5/16 田村耕作